



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年11月1日

上場会社名 株式会社 ジーダット

上場取引所 東

コード番号 3841 URL <http://www.jedat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 松尾 和利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 田口 康弘

TEL 03-6262-8400

四半期報告書提出予定日 2019年11月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	943	0.8	76	183.8	73	122.4	49	142.8
2019年3月期第2四半期	936	6.0	26	33.6	32	23.4	20	39.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	25.55	25.55
2019年3月期第2四半期	10.54	10.53

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,445	2,818	81.8
2019年3月期	3,264	2,808	86.0

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 2,818百万円 2019年3月期 2,808百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		20.00	20.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	6.1	170	46.2	170	36.2	113	27.7	58.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	1,950,200 株	2019年3月期	1,950,200 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	30,145 株	2019年3月期	26,145 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	1,922,984 株	2019年3月期2Q	1,921,129 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間において当社は、開発リソースを集中投入して、主力製品SX-Meisterの機能拡張を継続するとともに、当該主力製品をメインにした販促活動の強化にも注力しました。各種展示会・学会に出展し、当社ならびに製品の認知度向上を目指すと共に、製品自身の販売活動に併せて、設計効率や設計品質改善の提案活動も、積極的に展開しました。さらに9月にはプライベートセミナーを開催し、SX-Meisterの導入実績および将来構想を紹介しました。デバイス設計受託分野においては、業容拡張および業務効率化に向けて、その延長線上にあるターン・キー・ビジネスを、本格的に始動しました。また海外においては、販売対象分野を絞り込み、代理店支援を集中的に実施して、顧客層の拡大を図りました。このような活動の一方で、世界的な半導体不況や貿易環境悪化が長期化の様相を示しており、現時点では先行の景況を見通せないため、優先順位が低い予算案件をシフトする事により、固定費の圧縮を行いました。

このような活動の結果、売上高は9億43百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。営業利益は、固定費を圧縮した結果76百万円（前年同四半期比183.8%増）となりました。経常利益は、為替差損等による営業外費用を計上した結果73百万円（前年同四半期比122.4%増）となり、四半期純利益は49百万円（前年同四半期比142.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 当第2四半期会計期間の総資産、負債、純資産の概況

総資産は、前事業年度末と比較して1億81百万円（5.5%）増加し34億45百万円となりました。内訳として流動資産は1億83百万円（6.0%）増加し32億53百万円、固定資産は2百万円（1.3%）減少し1億92百万円となりました。流動資産が増加した主な要因は、電子記録債権が20百万円（13.2%）減少した一方で、現金及び預金が1億66百万円（6.5%）増加し27億50百万円となったことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末と比較して1億70百万円（37.3%）増加し6億26百万円となりました。内訳として流動負債は前事業年度末と比較して1億67百万円（37.1%）増加し6億20百万円、固定負債は2百万円（70.5%）増加し6百万円となりました。流動負債が増加した主な要因は、前受金が1億81百万円（86.6%）増加し3億92百万円となったことによるものであります。

純資産は、前事業年度末と比較して10百万円（0.4%）増加し28億18百万円となりました。純資産が増加した主な要因は、利益剰余金の増加10百万円（0.9%）によるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末の86.0%から81.8%となりました。

② 当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの概況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前事業年度末と比べ1億67百万円増加し18億23百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は前年同四半期比で53百万円（32.3%）増加し、2億17百万円となりました。主な要因は、前受金の増加1億81百万円及び、税引前四半期純利益73百万円を計上したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は11百万円（前年同四半期は1億67百万円の収入）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出を9百万円計上したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期比で0.2百万円（0.6%）増加し38百万円となりました。主な内訳は、配当金の支払であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表しました2020年3月期の業績予想からの変更はありません。なお当資料に記載の業績見通しについては、現在入手している情報に基づいた見通しであり、当社企業の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向等により、実際の業績がこれら業績見通しと大きく異なる場合があり得ることをご承知おき願います。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,583,753	2,750,744
受取手形及び売掛金	247,617	244,683
電子記録債権	158,373	137,409
仕掛品	8,768	20,107
原材料	1,616	221
その他	69,378	99,903
流動資産合計	3,069,507	3,253,070
固定資産		
有形固定資産	37,857	43,608
無形固定資産	6,733	5,612
投資その他の資産		
投資有価証券	50,589	48,973
繰延税金資産	38,628	34,902
その他	61,149	59,299
投資その他の資産合計	150,367	143,175
固定資産合計	194,958	192,396
資産合計	3,264,465	3,445,467
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,820	46,018
未払法人税等	28,043	29,793
賞与引当金	82,131	82,210
前受金	210,195	392,156
その他	105,238	69,985
流動負債合計	452,430	620,163
固定負債		
資産除去債務	3,700	6,310
固定負債合計	3,700	6,310
負債合計	456,130	626,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	760,109	760,109
資本剰余金	891,028	891,028
利益剰余金	1,185,479	1,196,138
自己株式	△28,491	△28,491
株主資本合計	2,808,126	2,818,785
新株予約権	208	208
純資産合計	2,808,335	2,818,994
負債純資産合計	3,264,465	3,445,467

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	936,141	943,431
売上原価	384,006	390,184
売上総利益	552,134	553,247
販売費及び一般管理費	525,213	476,831
営業利益	26,921	76,416
営業外収益		
受取利息	1,640	304
為替差益	5,272	—
その他	279	36
営業外収益合計	7,192	340
営業外費用		
為替差損	—	2,772
投資事業組合運用損	1,200	775
営業外費用合計	1,200	3,548
経常利益	32,913	73,208
特別利益		
新株予約権戻入益	864	—
特別利益合計	864	—
税引前四半期純利益	33,777	73,208
法人税、住民税及び事業税	8,765	20,341
法人税等調整額	4,770	3,726
法人税等合計	13,536	24,068
四半期純利益	20,241	49,140

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	33,777	73,208
減価償却費	9,981	8,663
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,257	79
投資事業組合運用損益(△は益)	1,200	775
受取利息	△1,640	△304
新株予約権戻入益	△864	—
売上債権の増減額(△は増加)	5,124	23,897
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,101	△9,944
前渡金の増減額(△は増加)	△28,008	△27,713
仕入債務の増減額(△は減少)	13,397	19,197
未払金の増減額(△は減少)	3,366	△18,904
前受金の増減額(△は減少)	158,056	181,960
その他	△5,783	△15,405
小計	178,248	235,508
利息の受取額	2,152	586
法人税等の支払額	△15,699	△18,255
営業活動によるキャッシュ・フロー	164,702	217,839
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△927,580	△926,897
定期預金の払戻による収入	900,000	927,752
有形固定資産の取得による支出	△3,250	△9,029
無形固定資産の取得による支出	△6	—
投資有価証券の取得による支出	△2,222	△543
有価証券の償還による収入	200,000	—
敷金の回収による収入	202	327
敷金の差入による支出	△40	△1,980
その他	792	△884
投資活動によるキャッシュ・フロー	167,894	△11,255
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△60	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	198	—
配当金の支払額	△38,398	△38,481
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,259	△38,481
現金及び現金同等物に係る換算差額	593	△348
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	294,930	167,754
現金及び現金同等物の期首残高	1,447,683	1,656,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,742,614	1,823,754

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。